

市長の ふれあい訪問



スタンドグラス未季会主宰 小林 未季さん

日本のスタンドグラスの第一人者ともいわれ、現在では、NHK文化センターの講師などを務めるかたわら、独自でスタンドグラス未季会を主宰。数多くの作品を創作し続けている小林さん。最近では、北区の北とびあで、光と時空のラプソディー」と題した作品展を開催、絶賛を浴びました。今月は、そんな小林さんのアトリエを岡村市長が訪ねスタンドグラスの歴史や魅力などについて、お聞きしました。

市長 北とびあの作品展、拝見させていただきました。あれはすごいですね。都会の喧騒から離れた別世界に急にタイムスリップしたような…光と影が織りなす幻想というか、光が効果的に使われ、自然な輝きが印象的でした。スタンドグラスという、教会がすぐに頭に浮かびますが、歴史的にはいつごろからつくられるようになったのですか。

小林 主に12〜13世紀のヨーロッパで流行したもので、文字の読めない人たちに絵で教えを説いたというのが始まりです。作品を大きく分けると2つあり、教会など建築に用いられた平面的なものがヨーロッパ式ランプなど室内装飾に用いられた丸みを帯びた立体的なものがアメリカ式と呼ばれています。私は、その両方を組み入れた技法で作品をつくっています。



市長 やりたいと思ってもなかなかすぐできるものではないし、どのようなきっかけで始められ

たのですか。それと、素人の私にも解るようにスタンドグラスのつくり方を説明していただけますか。



小林 スタンドグラスとの出会いは、23年前です。ヨーロッパの教会で出会ったスタンドグラスの力強さに感動したのがきっかけです。でも、そのときは、私と同じものをつくるようになるとは思いませんでした(笑)。つくり方は、パッチワークのように、いろいろな色の硝子を選び、好きなかたちにカットし、鉛線をハンダ付けして組み立てていきます。決して絵を描くようにしてつくっているわけではないんです。

市長 そうですか。お伺いしたところによると、たくさんのお弟子さんもいて、大作もつくられているようですが、趣味でやっていらっしゃるということでは、作品をすべて寄付されてしまうそうですね。お陰様で川口市の市立医療センターにもいただきましたし、11月10日の「川口の日」に、リリアで開催する2000年ミレニアム記念式典でも、「虹のトンネル」の作品をいただけるそうです。ありがとうございます。新世紀への懸け橋ということでは、来場されるみなさんにくわわっていただく計画しています。

小林 光栄です。あの作品は、96枚のパネルからなっていて、図面を描く人、色を選んでカットする人、組み立てる人、総勢100人以上の力が注がれて完成したもので、1年の歳月を費やしました。ですから、より多くのかたに観ていただきたいという願いがあり、記念式典に飾っていただけ

るなんて、制作に携わったみなさんも喜んでくれると思います。

市長 話は変わりますが、大変眺めの良いマンションに住んでおられると聞きましたが、川口のまちは、どのように目に映っていますか。

小林 ちょうど川口の全景が見える方向なんです。夜景もきれいだし、雲の流れなど一日の変化が良くわかるんです。美しいものを常に見られるというのは、大変素敵なことですし、新しい創作活動にも役立っています。

市長 今度は、ぜひその美しい川口を作品にしてほしいですね。展示場所はもろろん市役所ですよ(笑)。私も川口というまちは、産業と文化が融合し、とても活力のあるまちだと思っています。それに芸術家の人たちが活動しやすいまちでもあると思います。これからも、川口を創作の発信拠点として、全国に誇るスタンドグラスをつくり続けてください。応援します。最後に、作品を見せていただいた私なりの感想なんです。が、気韻生動(きいんせいどう)という言葉のとおり、作品の一つひとつが、とても気品に満ち溢れ、いきいきと感じました。気持ちもなげか落ち着き、作品と一体になるといっていいかな、不思議な気分になりました。



これが芸術の持つ素晴らしさなのかも知れませんが、そんな自分の感性を再発見させてくれたスタンドグラスとの出会いでした。ありがとうございます。今後、今後も良い作品を創作してください。

ボクと写真館

今井 雅人(まさと)ちゃん
1歳9か月、芝中田1丁目在住
泣き虫でさびしがりのやの
ぼくです。オハア~!



小野田 りんちゃん
2歳1か月、本蓮1丁目在住
妹ができたので“ぐっと”
お姉さんになりました♡



小谷 建斗(けんと)ちゃん
1歳8か月、榛松在住
そこの彼女
ハイカモン ベイビー♡



西澤 南(みなみ)ちゃん
2歳4か月、青木5丁目在住
お風呂サイコー!
でも、シャンプーは苦手



藤井 彩歌(あやか)ちゃん
2歳3か月、安行出羽在住
キティちゃん大好き
いつも一緒♡



細川 千穂(ちほ)ちゃん
2歳4か月、朝日3丁目在住
お祭り大好き我家のアイドル!



吉川 美波(みなみ)ちゃん
1歳11か月、飯塚2丁目在住
ミニーちゃんのお
布団がないと眠れないの



吉野 百絵(ももえ)ちゃん
2歳4か月、並木1丁目在住
泳げるようになったよ



9月の赤ちゃん誕生388人
(9月中に川口市で出生届を受理した件数)

問い合わせ: 秘書広報課

ひと

コルシカ島に思いを馳せて

提箸 さげはし 静子さん(柳根町在住)

アマチュア女声合唱団「百合」が、今月、フランス領コルシカ島でコンサートを行います。「百合」の代表を務める提箸さんは「長年の夢が叶う」と、喜びを語ります。

コルシカ島は、地中海に浮かぶ山と呼ばれる美しい島。領有権争いの的となり、戦いと封建的支配に耐えた歴史から、島民は気の強い独特の気質。ナポレオン一世の故郷として有名です。

15年前「コルシカ島の12の歌」を演奏会で歌った提箸さん。島の民謡を基に作曲されたこの曲に、「なぜか懐かしさを感じた」そうです。それから、「島の人たちとふれあい、曲の心にさわりたい」という気持ちが膨らみ、一昨年の春、かつて一緒に歌った仲間たちに打ち明けました。そして、「みなさんも同じ気持ちとわかり、『百合』を結成。高橋誠也先生、藤井あや先生をはじめ多くのかたのご協力のおかげで演奏旅行に行けることになった」といいます。

合唱を始めたのは、20年前。友達の話いで、地域の合唱団に入団。「練習中、先生に指摘されたことが表現でき

なくて落ち込むことも。こんなとき、仲間と励まし合えたから続けられた。辛い練習を乗り越えて演奏会を終えたときの充足感はずまらない。これは、若いころから好きな登山と同じ」と合唱の魅力を語ります。

年末には、ベートーベンの「第九」を歌います。また、団員への連絡や事務などをこなす世話好きな一面も。「仕事を任せていただけるのが嬉しい。これも家族の理解があつてこそ」とも。

「人との出会いが一番嬉しい。自分から飛び込まないと出会いは来ない」と前向き。「島の人々に気持ちを伝えたい」と選んだ会場は、首都アジャクシオのカテドラル教会と高齢者福祉施設。「日本人が歌いに行くのは初めてのこと。しっかりとした足跡を残したい」と練習に力がこもります。





ジャンボいもの鍋が10月22日、浮間ゴルフ場・荒川運動公園で開催され、同時に行われたゴルフ場のふれあいまつりと併せた盛りだくさんのイベントに多くの家族連れが訪れました。(2000年ミレニアム記念事業)



県南5市特養サミットが9月22日、サンテピアで開催。川口、草加、蕨、戸田、鳩ヶ谷の公営、民営の特別養護老人ホーム10施設の代表者が、介護保険導入後の施設の現状や問題点について話し合いました。



健康フェスティバルが9月17日、リア展示ホールと音楽ホールで開催。市民の健康を守る各種相談や体力測定、健康食試食コーナー、お年寄りの良い歯のコンクール受賞者インタビューなどが行われました。



ハートフルコンサートが10月1日、川口市民会館で開催され、安来節保存会や手話サークル、福祉施設の音楽クラブなどが、心温まるボランティアマイนด์いっぱい歌と演奏を披露しました。





● **親子で楽しむ科学実験** が9月3日から全5回にわたって川口総合高校で開催され、親子22人が参加。9月23日には、ペットボトルを使った水ロケットづくりを楽しみました。



● **グリーンフェスティバル** が10月7日から9日までグリーンセンターとリリアパークで行われ、秋の草花や緑に親しむ市民でにぎわいました。



● **広報表示板** がこのほど、市役所ロビーにお目見え。大型のカラーディスプレイを使い、市政に関する最新情報を来庁者にお知らせしています。



● **ごみまる環境フェア** が10月1日、リリアとリリアパークで開かれ、訪れた市民は、リサイクルファッションショーやフリーマーケットをとおして、ごみ減量化の理解を深めました。